

船舶インシデント調査報告書

平成29年12月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（燃料供給不能）
発生日時	平成29年5月23日 11時15分ごろ
発生場所	北海道石狩湾港 石狩湾港中央ふ頭LNG棧橋シーバース灯から真方位064°650m付近 (概位 北緯43°12.8′ 東経141°18.0′)
インシデントの概要	プレジャーボート ^{スプラッシュ} SPLASHは、北西進中、船外機が停止して運航不能となった。
インシデント調査の経過	平成29年5月30日、主管調査官（函館事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート SPLASH、5トン未満（長さ4.95m）
船舶番号、船舶所有者等	200-33084北海道、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約1m
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、知人2人を乗せ、石狩湾港を北西進中、船外機が停止した。 船長は、船外機の始動を試みたものの、始動できなかったので、海上保安庁に救助を要請した。 船外機は、本インシデント後の点検により、燃料タンクから船外機に接続される燃料ホース内部にゴミ等の異物が詰まっていることが判明し、燃料ホースを新替えしたところ、正常に始動するようになった。
分析	本船は、石狩湾港を北西進中、燃料ホースがゴミ等の異物によって閉塞したことから、船外機に燃料油の供給ができなくなり、船外機が停止し、運航不能となったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、石狩湾港を北西進中、燃料ホースがゴミ等の異物によって閉塞したため、船外機に燃料油の供給ができなくなり、船外機が停止したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・船外機等の燃料油系統を定期的に点検すること。